

日高市農地利用最適化推進委員の推薦及び応募の状況（中間公表）

【応募の状況】									
受付 番号	応募者名	職業	年齢	性別	経歴	農業経営の状況	希望区域	応募理由	農業委員への 推薦・応募の有無
1	大澤 尚	一般社団法人 研究員	60	男	・平成10年3月 青山学院大学経営学部卒業 ・平成10年4月 社団法人生命科学協会入職 編集部配属 ・平成14年6月 (株)第一公報社入社 編集部配属 ・平成17年6月 一般社団法人中央政策研究所 研究員 ・令和5年11月 (株)石油化学新聞社入社	耕作面積 292㎡ 主な作物 なし 従事日数 年間0日	3	・この1月で定年になり、日高で生まれ育ったものとして、この地域に恩返しができればと思い応募しました。学生時代より環境問題に興味を持ち当時、県環境課が行っていた「緑の推進委員」を12期努めました。その間青少年課が実施した20～30代の若者が未来の埼玉像を語る「未来を拓くさいたま青年会議」に席を置きました。 現在は、「市環境審議会」で会長を努めています。今までの経験が活かせるのではないかと応募しました。	有
2	加藤 正明	市会計年度職員	71	男	・昭和47年3月 埼玉県立狭山工業高校卒業 ・昭和51年3月 日本工業大学工学部機械工学科卒業 ・昭和52年3月 (株)エール電子工業退社 ・昭和52年7月～平成30年3月 所沢市職員 ・平成30年4月～令和4年3月 日高市立高麗中学校特別支援教育補助員 ・令和4年4月～現在 日高市立武蔵台小中学校特別支援教育補助員 ・令和2年2月～現在 日高市農地利用最適化推進委員	耕作面積 5,821㎡ 主な作物 野菜 従事日数 年間25日	5	・私は、農家で育ち公務のかたわら農地を管理してきました。2期わたり推進委員として農政に関わり、農地の活用や集約化等に取り組んできました。又、耕作放棄地など個々の試みでは対応できない問題に接してきました。 長く行政職を経験したことを活かし、適正に判断し、農家が意欲的に営農できるよう、推進委員として日高市の農業発展に貢献したいと思っています。	無
3	小久保 浩司	農業	78	男	・昭和40年4月～平成13年3月 埼玉りそな銀行 ・平成13年4月～平成26年4月 昭栄保険サービス(株) ・令和2年2月～現在 日高市農地利用最適化推進委員	耕作面積 6,000㎡ 主な作物 茶、露地野菜 従事日数 年間180日	6	・私は長い銀行員生活でいろいろな職業・立場の方と接する機会があり多くの事を学ばせていただきました。生まれ、育ててもらった日高市で今迄学んだ知識・経験を活かして推進委員として、日高市の農業発展に貢献したいと思っています。	無
4	安藤 俊吾	農業	71	男	・昭和54年1月～平成25年3月 日高市職員 ・平成26年4月～平成28年3月 日高市シルバー人材センター嘱託職員 ・平成28年4月～ 農業専属従事 ・令和2年2月～現在 日高市農地利用最適化推進委員	耕作面積 10,048㎡ 主な作物 栗、野菜 従事日数 年間270日	4	・私は、市役所退職後家業の農業に従事する傍ら、入間第二用水土地改良区役員を歴任し現在は理事長に就任、又高麗川マロン研究会会長、高萩地区耕作組合代表の役職を務め、地域農業発展にも微力ながら努めてきました。 そうした中で、農業後継者不足や農業従事者の高齢化等により、荒廃する農地が多くなるのを見るたびに心を痛め「何とかしたい」と思っています。 そこで、当委員に応募することを決意しました。就任するならば、市農業発展のため、奮励努力の覚悟です。	無
5	紫藤 清司	農業	74	男	・昭和45年4月～平成24年3月 日高市職員 ・平成24年4月～平成26年3月 山根区区長 ・平成29年2月～現在 日高市農地利用最適化推進委員	耕作面積 10,000㎡ 主な作物 そば、柚子 従事日数 年間300日	2	・日高市の農業行政に貢献したい。	無
6	今野 利弘	農業	72	男	・昭和48年1月 今野建築退職 ・昭和52年9月 (株)向井建設(土木部)退職 ・昭和57年3月 工学院大学専門学校 (建築学科)卒 ・平成25年3月 東京消防庁退職 ・平成25年4月～平成31年3月 日高市役所危機管理課 ・令和2年2月～現在 日高市農地利用最適化推進委員	耕作面積 150㎡ 主な作物 露地野菜 従事日数 年間200日	3	・私は日高市に長年居住し、地元の事や地域の実情を把握しています。また、地域の防災力向上をはじめ農業者として就農してから、地産地消を目標に地域の農業発展にも尽力してきました。農業に対する熱意があり、推進委員として日高市の農業発展に貢献したいと思っています。	無